

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	足羽の町たんけんたい
-------	------------

テーマ	足羽の町にホテルをとばそう
-----	---------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
伊戸川 陽	足羽小学校	4年
嶋田 吉宏	足羽小学校	4年
千秋 隆	足羽小学校	4年
土田 勲	足羽小学校	4年
福野 大輔	足羽小学校	4年
大野 未奈	足羽小学校	4年
加藤 麻美	足羽小学校	4年
鎌田 紅美	足羽小学校	4年
道前 あずさ	足羽小学校	4年
吉田 由美	足羽小学校	4年
小林 真里菜	足羽小学校	4年

指導者氏名	朝 倉 乗 恵	教職員
-------	---------	-----

1. テーマを選んだ理由

ぼくたちは、学校の行事で足羽の町の古い物調べをしました。でも、自然さがしもしてみたいと考えました。足羽の町には足羽山、足羽川があります。地区の人達がこの山と川をきれいにしています。ぼくたちも、足羽の町の自然を守るために、足羽の町をたんけんし、ほたるをとばせるようにしていきたいと考え、とりくむことにしました。

2. 活動の記録

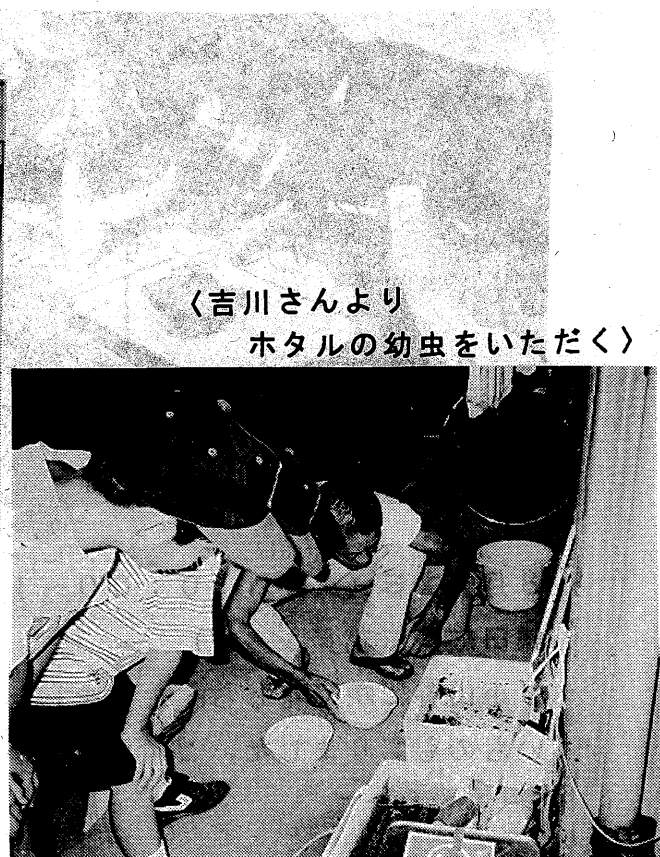
7月27日(木) 14:00 地域環境ジュニアパトロール手帳交付式
2名参加

7月28日(金) 10:00

メンバー全員が、学校に集まり、パトロール計画を立てた。ホタルグループ、生き物(虫)さがしグループ、花グループに分かれて自分達でがんばってみたいことを話し合った。ホタルグループは、福井市の一乗谷にあるホタル飼育場を見学、地元の人から幼虫を分けていただくことにした。生き物(虫)さがしグループは、夏、秋の虫を調べたり、なき声をテープにとったりして、虫のサウンドマップを作っていくことにした。花グループは、秋と来年の春にさく花の種まき、球根植えをして、町に花をおいていく計画をたてた。



〈一乗谷ホタル資料館見学〉



〈吉川さんより
ホタルの幼虫をいただく〉

福野大輔

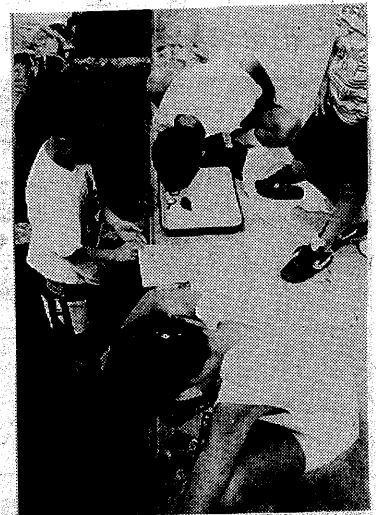
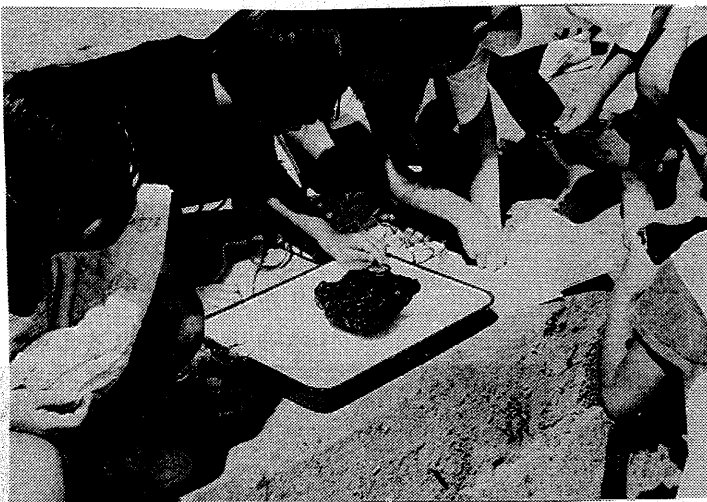
「一乗谷の吉川さんに、ホタルのよう虫のお話をしてもらってから、幼虫をいただいて帰りました。もらいにいった時は1ミリぐらいでしたが、8月末には、1センチぐらいになりました。ホタルのしいく場の中もみせてもらいました。ホタルがとぶように、がんばりたいです。」

8月2日(水) 午後2:00~3:30 足羽山付近小山谷

道前あずさ

「ホタルの幼虫のエサになるカワニナさがしと小川の水のよごれ調べをしました。石のうらには、いっぱい虫がいました。カワニナも大きいのと小さいのを見つかりました。川はあまりよごれていませんでした。21度の水温でした。カワニナがいっぱいでほっとしました。ホタルがそだってくれるとうれしいです。」

この日は、35度の暑さの中、足羽山付近に流れる小川の水の調査をした。カゲロウ類やトビゲラ類が石のうらにくっついて発見された。ホタルの幼虫のエサになるカワニナも次々と見つかった。数匹を学校へもち帰り、さっそくホタルの幼虫の箱に入れた。



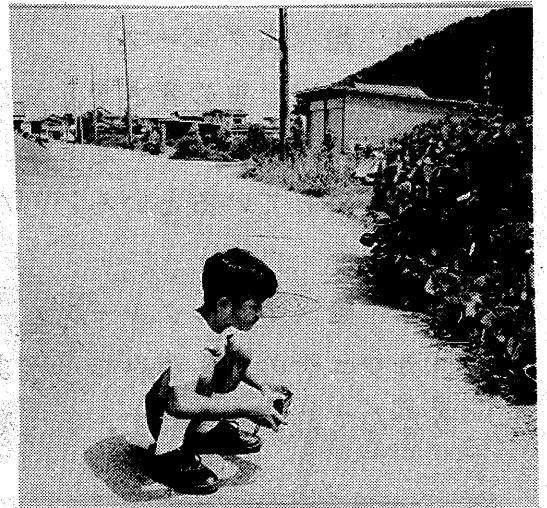
8月22日(火) 10:00~11:30 足羽山付近小山谷

鎌田紅美(花グループ)

「小山谷に咲く花しらべをしました。いろいろとさいていました。名前の分からないものもありました。こんなにさいていたなんて知りませんでした。白、黄色など、



〈小山谷付近の花調べ〉



〈小山谷の虫などの音をとる〉



〈ホタルの幼虫のかんさつ〉



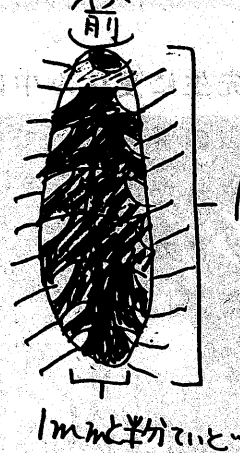
水温26℃

感想
心
まえより
大きくなっ
いた。

8月22日

ホタルの幼虫

9月5日 ホタルのよう虫
水温23℃



1cm くらい

1mmと半分くらい

歩きかた
体をのびちぢみさ
せて歩
いてた。

感想
ここまで成長
とは思わなかった。

8月22日、9月5日の
幼虫の観察カード

とてもきれいでした。秋にはどんな花がさくのかな」

土田 勲（虫グループ）

「虫みつけと虫の音さがしに行きました。小山谷には、しおからとんぼ、あげ羽、赤とんぼ、バッタがいました。音は、ひぐらし、せみ、すずめの音が聞こえました。しずかにしているといろいろな音がやかましく聞こえてくるのがわかりました。」

千秋 隆（ホタルグループ）

「カワニナのからがみつかりました。小さいホタルの幼虫がカワニナを食べてしまうなんておどろきです。幼虫をこれからしっかりとかんさつしたいです。」

8月28日（月）10:00～12:00

大野未奈（花グループ）

「学校の庭でサフランという花のきゅうこんをみんなでうえました。そして教室でホタルの幼虫を放すところの『ホタルランド』の地図作りをしました。サフランがさいたらホタルランドへもっていくのがたのしみです。」

この日は、全員で『ホタルランド』の地図作りをした。ホタルの幼虫を放す小川の調査の結果を記入したり、虫の音や、咲いていた花などを書き加えていった。

地図の色ぬりをしたあと、活動の感想を全員が書いた。

9月13日（水）第2校時

吉田由美・加藤麻美

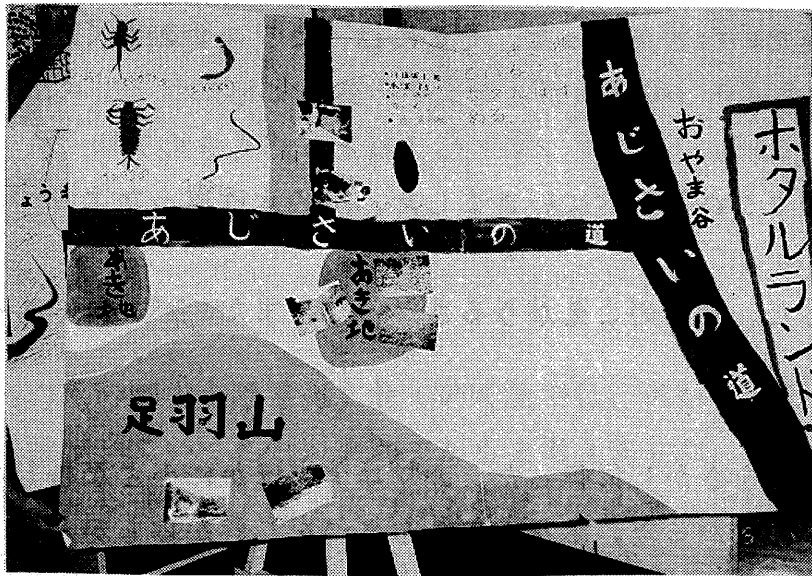
「キャリン・ギブソン先生に夏休み中に調べたことやホタルランドのことを発表しました。朝4時の足羽山の音を聞いてもらったら、キャリン先生がセミのなき声とあてたので、おどろきました。」

キャリン先生は、アメリカの自然のことを話してくれました。アメリカにもホタルがいると分かりました。」

3. メンバーの感想

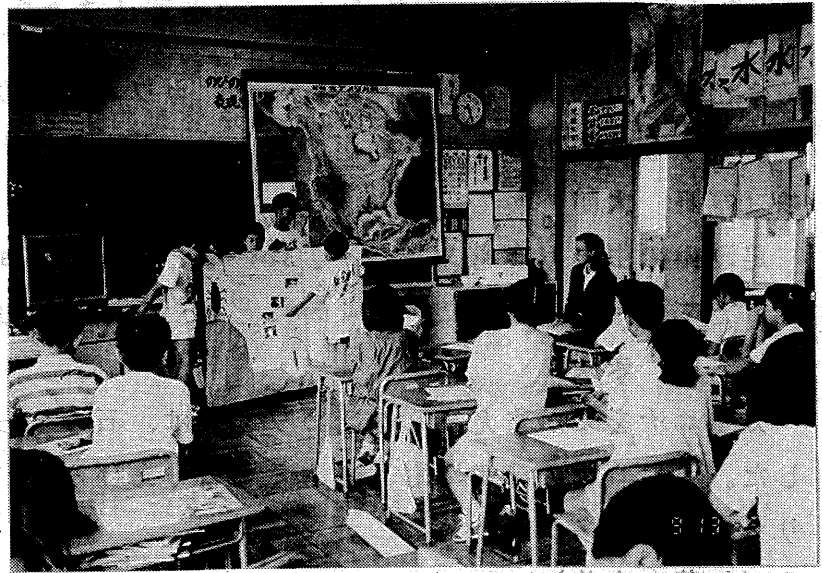
●（伊戸川 陽）

一乗谷の吉川さんの家に行ってホタルの幼虫をもらってきました。始めは1cmくらいの大きさと思ったけど、目に見えないくらい小さいからびっくりした。ホタル



〈ホタルランドの地図〉

〈キャリン先生に
活動報告した〉



（美穂 蕨城）



の飼育場へ入ったら、小川みたいな所があった。そこには、カワニナがたくさんいた。すごかった。

●（嶋田 吉宏）

夏休みに小山谷の川へ水のよごれしらべにいきました。川の水は思ったよりつめたかった。

足羽山の虫の声をろく音した。せみのこえがうるさかった。また、パトロールをしてみたい。

●（千秋 隆）

ホタルのえさになるカワニナをさがしに行った。カワニナのほかに小さなむしを発見した。その川はとてもつめたかった。ホタルのかんさつをこれからもがんばりたい。

●（土田 勲）

小山谷の川のよごれを調べに行った。カワニナ、カワエビ、イトミミズ、ウスバカゲロウなどの小さな生き物がいた。思ったより、川はきれいでした。

●（福野 大輔）

足羽山の虫の写真をとった。きれいなとんぼやチョウがいた。虫のなき声もとった。とてもうるさかった。朝4時にとったのは、ねむたかった。

●（大野 未奈）

カワニナをつかまえました。カワニナは、石のうらやいろいろな所についていました。カワニナのほかに、イトミミズやえびみtainなのがありました。でもやっぱりカワニナが多かった。

●（加藤 麻美）

夏休みのパトロールでカワニナをつかまえました。カワニナは大きいのが多くて小さいカワニナはあまり見つかりませんでした。ホタルランドの下書きはちょっとむずかしかったです。ホタルがとぶといいです。

●（鎌田 紅美）

夏休みにパトロールでカワニナやいろいろな虫をつかまえました。サフランの花も植えてとてもつかれました。ホタルランドの絵も書きました。ホタルが早く大きくなってほしいです。また、パトロールをしたいと思った。

●（道前 あずさ）

夏休みのあついときにカワニナをつかまえにいきました。とってもホタルランドのえは、とってもたいへんでした。はやくホタルがせい虫になってほしいです。

●（吉田 由美）

夏休みに、サフランの花をうえました。きゅうこんをうえきばちに4つずつうえました。早く大きくなってほしいです。大きくなって、ホタルランドにもっていきたいです。

4. 指導者の感想

川の水の調査を取り組ませていく上では、何か子ども達が興味をもってくれる活動に設定していくことが大切であると考えました。たまたま、一学期の道徳の資料にホタルを地域の人達が協力して保護し、飼育していく内容のものがありませんでした。この授業のあと、子ども達のできることを考えさせたところ、「花をうえたい。」

「町の自然を調べたい。」「ホタルをとばせたい。」などの内容がでてきました。夏休みを前に話し合い、ジュニア環境パトロールに参加しながら、ホタルをとばすために足羽の町をたんけんし、川や虫の調査をすることになりました。

夏休み中は、グループに分かれながら、ホタルの幼虫のエサになるカワニナさがしと川の虫調べや、ホタルをとばす場所の虫、花調べなどに喜んで取り組んでいました。

ホタルの幼虫の飼育と観察、ホタルランドの計画も継続しており、二学期に入って、国際交流で来校されているキャリン先生に自慢気に活動報告をしていたのが印象的でした。

まだ活動はホタルの幼虫を来春、川に放すまで続きますが、願いと希望をもって取組を続けてくれたらと思っています。